教科	公民	科目	倫理・政治経済(進学)	単位	4 単位

１．教科書および副教材・参考書

『倫理』（第一学習社）、『政治経済』（第一学習社） 『サクシード政経／公共』（啓隆社）
『最新図説倫理』（浜島書店）

２．授業の目標および内容

(倫理)先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深め、生徒が自らの人格の形成に努める実践的な態度を育てることを目標とします。ギリシア思想、三大宗教、東洋思想、日本思想、西洋近代思想を中心に学習します。

(政治経済)1 年次に公共で学習した内容を活かし、おもに経済分野について学習します。現代社会を生きる私たちに必要不可欠な市場経済、金融と財政の概念をしっかり理解することを目標とします。

３．試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次　5 月	二次　7 月	一次　10 月	二次　12 月	
学力試験					第 1 回　2 月

内容・難易度について

① 定期試験：100 点満点で出題
範囲を定め、教科書・副教材の内容に入試レベルの問題を加えて出題します。

② 学力試験：100 点満点で出題

４．課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

５．評価の視点

定期テストの点数を基本に、総合的に評価点を算出します。

６．授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	[倫理] ・青年期の課題と自己形成 ・古代ギリシアの思想 ・キリスト教 [政治経済] ・市場経済の機能と限界	 人間とは何か／青年期 哲学の誕生／ギリシア哲学 古代ユダヤ教／イエス／キリスト教 市場／経済主体／国民経済と経済成長／物価と景気変動／市場の失敗と公害・消費者問題	
2	[倫理] ・イスラーム ・古代インドの思想と仏教・ ・中国思想 ・日本思想 ・西洋近代の思想 [政治経済] ・持続可能な財政および租税のあり方 ・金融を通した経済活動の活性化 ・経済活動と福祉の向上	 「クルアーン」の教え 古代インド／ブッダ／仏教の展開 孔子と儒家の思想／老荘思想 日本の源流思想／仏教 ルネサンス／宗教改革／モラリスト 近代科学の誕生 財政のしくみと租税の意義／持続可能な財政を実現するための税制のあり方／金融のしくみとはたらき／資金の流れと起業における資金調達のあり方／日本経済の変化と中小企業･農業問題／労使関係と労働問題／社会保障制度と福祉のあり方	
3	[倫理] ・西洋近代の思想 [政治経済] ・現代日本の諸課題の探究	 ベーコンとデカルト／自然権と社会契約／カント／ヘーゲル／イギリス功利主義／実証主義／社会主義実存主義／プラグマティズム／現代の新しい思想／構造主義 少子高齢化／地域社会／多様な働き方･生き方／産業構造／財政健全化／食料・農業問題／防災	